

平成9年5月24日発行

NO 186

泉南走ろう会

先づ
連絡
泉南スポーツ社
0724(83)4653

お知らせ

一例会曰

六月八日

種河神社集合時
コースは未定

六月二十二日

種河神社集合九時
コースは未定

二、夏期の合宿について

ほんのこの前まで桜の花が咲き、走る人にとって、最高の時期でした。が、もう夏を思わせる日が何日かあり、今年もまた暑い夏となりそうです。

泉南走ろう会では、昨年に続々合宿を計画してます。
場所は細井さんの紹介でサンヒル阪南
河時は、八月一日～二日にかけて予定。
会費は六,000円程度です。
皆さんの参加お待ちしております。
連絡は事務局へ七月十日で、田中まで

三、神鍋高原マラソンについて、
毎年走ろう会恒例の大会でした。
神鍋高原マラソンが今年から二年
口がなくなり、ナキロガ主に買ってきました。
ました。そこで今年走ろう会として
参加するが迷う所であります。が、
皆さんの意見で決定いたしました。

24時間耐久リレーは私にとって、これから的人生の中でも、永遠に記憶に残る行事であることは確かである。人から見ればいい年をした男（女性）たちが、まる一日、なにをやっているんだと思われたってかまやあしない。

24時間という長い宴が終わってみて、しみじみそう思う。

各走者は誰に強制されるでもなく、自分の番が回つてくるのを待ち、黙々と走る準備をし始める。

闇夜の中を、淡い明かりを灯し、各走者は走り去つてゆく。

遠くで見える走者は、まるで池の周りをふわふわと飛ぶ、蝶のような幻想的な風景をかもしだしている。夜も深くなり睡魔が襲つてくると、もう止めようやといふことばが、もう一人の私が

つぶやく。しかし誰もその甘い、誘惑的な言葉を口に出しはしない。

私は、不思議に思う。この走る仲間の会社での顔を、想像できない。

仕事をしている時の姿をイメージできないのだ。今ここで一緒に走つて、仲間の顔や姿しか見えてこない。

そして、長い一日が終わった後の祝杯の美酒は、私の体より先に、心に沁みわたった。



西知秀

24時間リレーマラソン完走記

「ゴールデンウイークの5月4日～5日にかけてやが「泉南走ろう会」のメンバーで初めての24時間リレーマラソンを実催した。この企画は私が前からやりたないと思って、このイベントの一つだ。

何年か前に堺の大泉緑地で毎年行われていた大会に友人の会例会で話したところ皆んなの賛同を得たので実行に移った。と同時に計画を立て、さて場所を何处にしようかと迷った。風河ダムに迷ふと思つたが、夜になると照明がないのと人家があり、大がかりな迷惑がかかることがあるから、衛空の対岸の道路が良いのかと考えたが最終的には熊取の「永楽ダム」周回コースに決定した。ここは公園があり、照明もトレイルも完備しているので良い条件が揃っている。皆んなも賛成してくれた。当月新家駅に集まって出発。現地には9時すぎに着いた。それから準備、当日は天気が良せりが家族連や若者達が来ていて、庭前には公園は満員、我々は、少し早めに着いたので調度良い木陰があつたので、岡田さんのテントをうち荷物を運び本部の設営。午前10時に全員でスタート。このダム一周は1950m。途中100m毎に表示がありアップダウンも二個所ほどあるが比較的走りやすく、コースで前にも熊取ロードレースで数回走つたところである。

第一走者は私が走り各自2周づつ走つた。タスキは徳山さんの娘さんが作ってくれたもので、ショット感激、周回コースを走つてみると、ベキューのいい臭いが漂つてきたり、一杯飲んでくるので歌や脳やかな笑い声などが聞こえて少しだけ恨めしいと思つた。が天気が良くて緑色キレイで楽しく走れました。参加者は細井さん、岡田さん、西さん、堀池さん、徳山さん、森脇さん、眞鍋さん夫婦、石川さん計10名。特に眞鍋さんは日頃走つておられるのに良く走つてくださいました。又石川さんは前日5月3日武庫川で70km走と完走して、良くがんばつてくれた。皆んなでピックアップしました。それに食事等の準備をして、ただして皆んな大いに感謝。このイベント

は走る距離は皆んなあります。向類はなく、と思うが時間が長いので、その方が疲れるみたい。毎をすぐる頃から一回走るたびにビールを飲む人、コーヒーを飲む人もいる。夕方になると家族連れなどから帰り始める公園内もすりて来る。少し涼しくなり食事の支度や飲み物の用意のため時間の経つのが早く感じられた。岡田さんなんかも、走った後泳ぎにプールに行つたり、皆なりラックス、其内徳山さんの主人や森脇さんの奥さんとの差入れがあり皆さんも大喜び。西さんの婚約者も応援に来てくれたりして大盛り上がり夜の更けるのも忘れるくらい。皆さんもガヤーテレビを観たりスニーケオを穿たりして、るうちに日付が変わる。徳山さんの主人が車で来てくれ、皆さんもを伴送してくれた。夜は電池を持つの走りきりで電気が切れると大変である。我々の近くでは、一組キャンプをして、他の若者達が2時までテントで泊まっている。彼らは、真暗で疲れたら寝ます。朝方に少し雨があつたが大事に到らず、夜が明ける。これから10時までは長く感じられる。朝早く徳山さんがお握りはテントで仮眠するがすぐ自分の走る順番が来るので休憩も少し朝方に少し雨があつたが大事に到らず、夜が明ける。これから10時までは長く感じられる。朝早く徳山さんがお握りを持って来てくれて、皆さんで食べる。この頃になると皆さんも疲れきり、最後に皆さんで一周する。ゴールは10時半で、全中止水で顔を洗ったり時間調整。5日前10時、コメットを鳴らしながら全員感激のゴールヤッタゾン!その後完走パーティ。楽しかった事、最後になりましたが全員の皆さん、本当に有難度ございました。来年も又やりましょう。今年参加出来なかれた人も是非参考してください。

周回138回 走行距離269km 一人平均約27km
この距離はJRの大阪駅を起終点とすると
東～浜名湖 南～新宮
北～広島県尾道の西三原市
北～金沢(湖西線回り)となります
すごいですね!